

## 意見集約

(第2回 資料4別紙)

「第4次胎内市障がい者計画、第7期胎内市障がい福祉計画、第3期胎内市障がい児福祉計画」の素案（調整中・概要版）に関するご意見をお寄せください。

### 第1章 計画の概要

特になし

### 第2章 計画策定の背景

特になし

### 第3章 障がい者の現状と課題

特になし

### 第4章 計画の基本理念

1 基本理念「みんなで支え合い、認め合う、誰もが安心して暮らせるまち“たいない”」

#### 2 基本目標

基本目標1 共に支え合い、認め合えるまち

基本目標2 安心して暮らせるまち

基本目標3 いきいきと心豊かに暮らせるまち

#### 3 計画の体系（体系図）

素案で良いと思います。

### 基本方針1 障がいへの理解と権利擁護の推進

特になし

P18 1-3-1について、意思疎通となっているので「手話」のみの記載となっているのでしょうか。

### 基本方針2 地域での自立生活の支援

特になし

### 基本方針3 安心して暮らせる地域づくり

特になし

### 基本方針4 総合的な支援体制の充実

特になし

### 基本方針5 社会参加の促進

特になし

## 第6章 障害福祉サービス等の成果目標及び見込量

特になし

## 第7章 計画の推進に向けて

特になし

### その他全体を通して何かありましたらお書きください

素案の方向性で良いと思います。

アンケート結果報告書の総括にある課題や問題提起の各項目を計画にどのように盛り込むかということになるかと思いますが、

1. 相談窓口については、それなりにあると思っておりますが、どこに相談すればよいのか分からない人も多いのではないのでしょうか。障がいに関する相談窓口を一本化する必要があるのではないのでしょうか。
2. 生活介護施設やグループホームについては、単に供給量を増やすのではなく、施設整備が伴わなければ意味がないので、施設整備のための具体的な計画を盛り込んでほしい。
3. 特別支援学校への送迎については、アンケートの回答者はどういう状況なのか調べてみる必要があるのではないのでしょうか。
4. 農福連携については、農家としては対価を支払うからには、それに見合う能力を求めると思うので、供給体制を把握しておく必要があるのではないのでしょうか。また、遊休農地も多くあることからそれらの活用を図ることも検討するべきではないのでしょうか。例えば、れんげ草を栽培して養蜂家と提携したり、ヒマワリを栽培して観光につなげるとともにヒマワリ油を製造するのも一つの方法ではないのでしょうか。

この種の計画は、国の方針に沿ったものにならざるを得ないと思いますが、胎内市の特性をしっかりと盛り込み、できたら終わりではなく、始まりだということを強く認識し、決して画餅とならないようにしていただきたい。